

市民まちづくり懇談会会議録（発言要旨）

と き	平成29年6月2日（金） 19:30～20:45
と ころ	竹野庁舎 1階 大会議室
市出席者	市長、政策調整部長 事務局（政策調整課：4名）
参加人数	34名（男性31名、女性3名）
会議録（発言要旨）	
男性A	<p>基本構想答申の12ページの(2)の下の方に「コミュニティセンター」と表記されているが、これはコミュニティ組織ではないか。コミュニティセンターがこういうことをするのか。</p> <p>16ページにもコミュニティに関する記述があるが、行政は今後のコミュニティ組織をどう見ているのか。行政とコミュニティとの関係、将来的にコミュニティ組織にどういった期待をもって行政として関わりを持っていかれるのか。</p> <p>将来的に財政的に苦しくなっていくと思う。住民のためにサービスをしていただいているが、行政だけではできなくなるのではないか。その一端をコミュニティが担うということが将来的に出てくるのではないか。</p> <p>行政とコミュニティが良い関係でありたいと思うので、行政として将来コミュニティ組織をどう位置付け、どういう関係で地域づくりをしていくのが少し触れられていればよい。そうすれば大切な組織としてコミュニティを見ていただいていることがわかると思う。</p>
市 長	<p>一点目、公民館の看板をコミュニティセンターに変えたのは、公民館が法的に社会教育施設という位置付けになっているので、公民館のままでも地域課題の解決をやりようと思えばできる訳ですが、消極的にとられる方が組織におられると、社会教育施設なのでしませんということが起きてくる。</p> <p>例えば豊岡市はすべての道路の除雪はとても手が回らないので、幹線と歩道だけやっています。それ以外は、地域の皆さんの自主努力をお願いしていて、地域によっては隣がお年寄りだけなので助け合ったりされることはあると思うが、村全体が高齢になってくると、助け合いもできにくくなってくる。</p> <p>その場合に、例えば、公民館に除雪機を置いて元気な人が有料のボランティアなどで、手の回らないところを除雪することも可能かもしれない。これを公民館の名前のままで行くと、関係なくやろうという地区も出てくるかもしれませんが、社会教育施設であることを盾にとってできないというところも出てくるかもしれない。そこで公民館という看板を外して法的には廃止をして、コミュニティセンターという看板を掲げている。</p> <p>つまり地域の人がやりようと思えばできるように看板を書き換えたということで、そういった経緯に着目してみるとこの文章でもおかしくないのではないかと思います。</p> <p>ただ他方で施設が何かやるわけではないというご意見は全くそのとおりですので、より正確にいうとすれば新しいコミュニティ組織とあってよいのだと思います。そこは今後検討させていただきたい。あとはコミュニティ組織の名前が地域によって違うものですから、ここは統一する意味でコミュニティセンターと書かれているとご理解ください。改めて表記については検討する。</p> <p>それから新しいコミュニティ組織を今後どういうふうに見ていくのか、行政とコミュニティの関係についてはどうかというご質問をいただきました。</p> <p>行政がやっていたことを地域に肩代わりしてもらおうとしているわけではなく、もともと行政の関わりがなく皆さんが自主的に支え合いをしていたところが弱っていくので、ここを維持していこうというのが基本的な考え方です。</p> <p>ただ新しいコミュニティ組織というのは新しいという名前のおとり、ほとんど経験がないので足腰の強い組織に育てていくまでには相当の時間、様々な取組みが必要だろうと思っています。当分の間は、市としては、新しいコミュニティ組織と並走しながら、相談をしながら課題を一つ一つ解決していった足腰の強いコミュニティ組織が育っていくように、或いは必要な支援をするのが行政と新しいコミュニティ組織の基本的なあり方と思っている。</p> <p>更に将来的にどうなるかというのは、正直まだ見えないところがある。ただ行政も弱まっていく、個々のコミュニティも弱まっていく、でもやらなくてはならないことは、どんどん増え</p>

	<p>ていく、特に高齢化などで増えていくとすると、みんなで力を合わせてやらなければならないという方向に移っていくことは間違いないだろうと思う。</p> <p>その意味では役割を押し付けるのではなく、力を合わせないとやっていけない時代がやってきますので、新しいあり方としては一緒になって地域を守っていく。例えば地域包括ケアシステムを全国的に作ることになっているが、その姿はほとんど見えていないのが実態です。予測としては将来的には、行政も新しいコミュニティも、個々人も、介護施設であったり、病院であるとか、診療所であるとか、みんなで力を合わせて乗り切っていかなければいけないと思う。</p>
男性A	<p>公民館がそういう能力を持っていて、コミュニティセンターが持っていないという意味ではない。</p> <p>この表現の中でコミュニティ組織にいただいた使命が、地域の課題を解決するとともに総合的に地域を運営していこうということの大きな使命をいただいていると思っている。</p> <p>将来、かなり大きい部分で存在意義が出て、有用性を知っていただくということになると思う。そのために行政とコミュニティがいい関係を結びたいという思いが強い。</p> <p>その意味で行政として将来、コミュニティ組織そのものをどういう形で位置付けをし、こういう関係で地域づくりをしていきたいというのが少し触れられていけばそうかな、大切な組織としてコミュニティを見ていただいていると感じられるのでその辺りをお尋ねしました。</p>
市長	<p>しっかりと受け止めさせていただきたい。</p> <p>例えば、人口減少下でIターンを一生懸命やろうとしている。この2年間で、豊岡市の移住定住相談窓口で、実際に相談を受けてIターンにつながった事例は、18組48人です。結構竹野は人気の場所で、Iターンで入ってきておられるのですが、市役所でやろうとすると、市全体を相手にすることになる。竹野だけになかなか力を入れることができない。</p> <p>でも一番の危機はそこで起きている。市全体でも起きているけれども、実は地域の差がずいぶんあって、正に地域コミュニティのエリア内でこそ、実は先鋭的に起きていることがある。私たちも努力をするんですけども、新しいコミュニティ組織もコミュニティ自身の危機の問題として、みんなで力を合わせてあの空き家にIターンを引っ張って来ようというふうになっていただきたい。そうすると私たちが市全体を見てやっている努力、情報やノウハウと、個々の具体的な新しいコミュニティ組織が力を合わせることでできれば、もっと効率的効果的にIターンを引っ張ってくることができるのではないかと。そういう共同作業ができていけばいいなと、思っている。</p> <p>奈佐の一番奥に目坂という地区があります。ここに昨年40代の夫婦が神戸から移って来られた。仕事はTシャツのプリントをやっておられる。ネット販売ですから、神戸に居ようと豊岡に居ようと、東京に居ようと見る人にとっては関係なく、センスが良いか悪いかだけで決まってくる。</p> <p>あとは宅配業者が日本中くまなくあるわけですので、仕事をするうえで全くハンディがないということです。後はアウトドアが好きなのか、ネオンキラキラの街が好きかという違いです。それでこの夫婦はアウトドアが好きなので竹野の海にすぐに行けたり、神鍋に行ける地として目坂を選んだということです。</p> <p>こんな例が出てきているので、実は田舎にチャンスが出てきているのではないかと思っている。このチャンスを私たちは生かそうとしますし、ぜひ新しいコミュニティ組織にもそのチャンスに目を向けていただければ、一緒になってもっともっとやることが出てくるのではないかと思っている。そういう意味では私も大いに期待をし、或いはこの方向に行かなければいけないからと思うからこそ市を挙げて組織作りを進めてきた。</p>
男性B	<p>主要手段2「地域の歴史、伝統文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている」のところで、伝統的なまち並みが大切にされ、活用されているについてです。</p> <p>竹野町の焼き杉板の町並みが出ているが、一昨年に豊岡で第38回町並みゼミが行われた。竹野も分科会で参加をした。全国から来ていただいてこの焼き杉板の町並みが素晴らしいというお墨付きをいただいた。市でも学術的な調査をしていただいております、大変ありがたいと思っています。</p> <p>今後の方向をどういうふうにもっていくのがよいか行政の考えを聞きたい。</p>
市長	<p>町並みゼミで一番人気だったのが、焼き杉板の町並みでした。あれは私もびっくりしたが、地元の皆さんが一番びっくりされたのではないかと思います。宝物が転がっていたことが分かった。これをいかにこの地域の元気のもとにしていくかをみんなで考えて実行していく必要がある。その際に本物でなければいけない。特に世界中の人々になんて素敵なまちだと思われるために</p>

	<p>は、うそをついてはいけない。</p> <p>ちゃんとした学術調査に根差したうえで、本物を磨いていくことがとても大切だと思う。その意味では本物の基礎のところを学術調査していただいているということだと思う。その上でこれをどうするのか、いかにお金を儲けるかということもいるでしょうし、やりがいのある仕事をどう作っていくかということも大切だろうと思う。それをどういうふうにやっていくか道筋はいろいろな方法があるかと思う。それはこれからの課題ですので、地域の皆さんや研究者の皆さんとも相談をしながら決めていきたい。</p> <p>これまでに出石は伝統的建造物群に指定されていますけれども、例えば同じような道を探っていくのも一つの方法だと思う。ただ、そのバッチが付いたら人が来るというものではない。仮に重要な建造物群のような道を選ぶとしても、そのプロセスを経て、いかにローカルを磨いていくか、焼き杉板の町並みをもっと美しくできるものがあるはずですし、その中で来た方に具体的なサービスで素敵なものを提供するなど、レベルを上げていくことがしっかりできれば、この竹野はもっともっと輝くと思っている。</p> <p>これも地域の人たちがどの道を選ぶのが大切なので、その中の合言葉として重要な建造物群を選ぶという方向に行くのであれば私たちもその方向でいくらでもお手伝いをさせていただきますし、市としてやるべきことは全力でやらせていただきたい。バッチにこだわらないということでも市としてお手伝いをさせていただきます。</p>
男性C	<p>ローカル・アンド・グローバルということだが、一番ベースになるのがコミュニケーションだと思う。</p> <p>竹野でも最近インバウンドの欧米の方が来られるようになった。先日も子どもたちは明るく交流していたが、なごみ亭で飲食をされた方が代金を払おうとすると、あたふたしてスムーズにできなかったという状況があった。世界都市を目指すのであれば、中高年の英語でのコミュニケーション能力を高めることの考え方があれば聞きたい。</p>
市長	<p>これは一度、振興局を通じて市の大交流課と対応を検討させていただきたい。例えば城崎も今でこそ年間4万人も来て外国人が泊まれる方が多い旅館が出てきた。月によっては100%近くが外国人という旅館も出てきた。でも城崎もはじめのうちは、あたふたという状況でした。今は片言ですが値切り交渉と戦ったりだとかされている。市が雇っていた外国人の職員は流ちょうな英語はいりません、笑顔と度胸があればいい、あとは片言の英語でつながっていればいいと言っていました。</p> <p>一度基本的なことを地域の方々にお話をさせていただいたり、やり取りをさせていただく場を設けるといいのかなと思いました。</p> <p>お店の方々や旅館の方々へのアドバイスや心構えという機会を設けさせていただきたい。それとメニューが全く読めないということがありますので、せめて英語のメニューはいるのだろうと思う。豊岡観光イノベーションがメニューの英語化に対するお手伝いを検討しているので、最低限のしつらえをやっていくことも必要だろうと思う。そういうことも含めて振興局と大交流課と話し合いをしたうえで、竹野地域でどういうことをすればいいのか検討したい。</p>
男性D	<p>世界都市が理解できない。日本を飛び越えて世界を目指すのかを市長の思い、決意をお聞かせいただきたい。</p>
市長	<p>皆さんの生活実感とこの世界都市とのかい離が大きいのではないかと思う。普通世界都市といった言葉で私たちがイメージするのが、例えば東京、ニューヨーク、パリなどの超巨大都市が世界の中で政治、経済、金融などの中心になっているというイメージがある。</p> <p>例えばフランスのカンヌは、人口7万4千人です。豊岡市は8万2千人ですからもっと小さい。世界中で人口が小さくても全く恥じない、堂々としていて世界中から評価を受けているまちはいっぱいある。ベネチアは人口が減っていますが、むしろ観光客は増えている。私たちもこういうまちを目指したいというのが、この言葉に込めたねらいです。</p> <p>日本の中で価値の序列が固いものとしてある。都市で行くと東京が一番偉い、その次に大阪、福岡、名古屋が偉い。豊岡のような小さなまちは偉くない、そういう価値の序列がきれいに出来上がっている。実際に豊岡の人口は十代で大幅な減少をするが二十代では逆に入ってくる人が多くなっている。ですが十代で失われた人口の40%しか二十代で回復できていない。あと60%は出た切りになっている。この人たちの足を止めているのが、大きいものが偉い、早いものが偉い、高いものが偉いという日本の中で非常に抜けがたく染み込んでいる価値観の中にあるのだろうと思う。これを日本の中でもがいてもどうしようもない。ですけれども世界は公平です。実際にカンヌのような街があり、カンヌを知っている人はいっぱいいる。こここのところでしつ</p>

	<p>かりとしたローカルを提示すれば、世界の人々は反応してやってくるだろうと、その証拠に城崎温泉は増えてきているわけですが、いきなり国を飛び超えて世界で輝くことができれば、日本の中における価値の序列を壊すことができるのではないかと。</p> <p>豊岡出身の子どもたちが大学を卒業するとき小さいまちかもしれないけれども、豊岡に居ても世界と結びつくことができる。あるいは、豊岡をベースにおきながら明らかに世界と勝負をしている企業が出てきている。ベースはあくまでも豊岡ですけれども、活躍する場は世界だという事例をどんどん増やしていくことによって、豊岡は全体としても世界で輝くことができるのだと思う。そうなれば小さくてもいいのだという堂々とした街になることができるのではないかと。そのような決意を込めたのが「小さな世界都市」という意味です。</p>
男性E	<p>私たちはどうしても考え方が小さく、豊岡の中の竹野の位置付けを考えてしまう。城崎の4万人の宿泊客の流れを竹野の海に来るようにできないか考えている。</p> <p>また、高規格道路について、我々が生きていく間には完成できないだろうとあきらめかけている。まだルートも決まっていないと聞くが、具体的などころも聞きたい。</p>
市長	<p>この竹野の海に世界の人を引っ張ってくるとすると頑張るべきであるのは、民宿をやる人やカフェをやる人、具体的に商売をやる人たち、観光協会に頑張ってもらって、むしろ道筋として近道なのではないかと思っている。</p> <p>竹野にはまだまだですが、確実に外国人観光客は増えてきている。ミシュラングリーンガイドブックによると、竹野浜は、星はついていませんが、透明度は入りたくほどの素晴らしいものだと書かれている。豊岡市のホームページで外国人が何に反応するかの調査をしていますが、旅館はリーズナブルなものに反応し、あとは海に反応している。これはアメリカ人がねらい目ではないかと思う。豊岡にやってくる欧米豪の中の国単独ではアメリカが一番多い。この辺をどうつかんでいくかでチャンスはあると思っている。</p> <p>来ないのはPRができていないから。城崎はものすごくやってきた。いろんな場面で発信する努力をしてきて、それが世界の各地の人に届いて今こういった状況に来ている。でも、竹野はほとんどやっていない。そもそも外国人がターゲットとしてなかった。日本に対しても十分にアプローチができていない中で、今の状況になってきているのだと思う。これから竹野の海が外国人が観たときに何が素敵に見えるかということを探り当てていって、そこを売り込んでいく作業をしていく必要があると思う。ギャップ調査というが、私たちが自分の魅力だと思っていることと外国人との間にギャップがある。ギャップを突き詰めるところからスタートすることがあるが、そういった努力をこれからしていく必要があるのではないかと。</p> <p>副市長がフランスの代理店で日本の海というと「沖縄」、雪というと「北海道」しかないと思っているということでした。ところが竹野の海のことをいうと知らなかった。京都の近くに雪が降る場所があると知らなかったということでした。まったく私たちは、自分たちのまちのことを届けられていないということの一例です。これから竹野を売り出そうとすると、竹野の何をどんな写真でどの人たちに反応するか、反応しやすい人たちに届けていくという努力をやっていく必要があるのだと思う。そのためにつくったのが豊岡観光イノベーションという組織ですので、まずは城崎を売り込んで豊岡に目を向けてもらって、豊岡を探ってみると他にも素敵なお店があるということなので竹野に誘導し、神鍋に誘導しようという道筋を描いているところですが、こうした中で竹野の皆さんとも共同戦線を張りたいと思っている。</p> <p>もう一つは竹野だけでは量は伸びない。城崎の温泉と竹野を結び付ける。季節によって山に反応して神鍋に来る人たちにちょっと行くと海があって、ジオカヌーがあるということの売り方。その中でどういう組み合わせが魅力的な商品になるのかということが大切だが、つながることをやる必要がある。一つ一つの魅力の絶対値は大きくないが、つながることによってトータルとしての魅力が上がる可能性があるから、そのことも竹野の場合は必要ではないか。</p> <p>高速道路についてなかなか見えないのは理由がある。この国道178号を改修するという名目で兵庫と京都、鳥取で進めているのですが、その時に優先順位をどう決めているかということ、道路事情の悪いところから手をつけることになっている。それから行くと竹野辺りは浜坂から久美浜までの間で見ると、比較的ましな方だということ、最初に手を付けられたのが佐津のところ。鳥取と浜坂との境のところも、道路がくねくね曲がっているところを何とかしなければならぬこと、手を付けられたり、浜坂道路が今年度中に開通すると思うが、より悪いところから手をつけることになっていて、竹野でなかなか姿が見えていないのが実態です。</p> <p>このままだといつできるのかわからないと、1メートル500万円、500メートル50億円かかる。そこで兵庫県や私たちが取っている作戦は、豊岡から京都府側に向けては国が代わりに造</p>

	ってくれないかというアプローチをしている。そうすると兵庫県のエネルギーは費やさなくても、竹野から西側の方にエネルギーを費やすことができるので、兵庫県と国の2馬力でできないかの働きかけを国の方にしている。一日でも早い方策を探っているところです。
男性E	城崎と竹野がつながるということを市長の口から聞いたかった。ありがとうございました。